東日本大震災

直後 After ⇒ 今 Now マップ

このマップを作ったきっかけと目的

5年生のとき、小学校の60周年行事のスライドを見て、2011年の東日本大震災の時に、学校も大きな被害を受けたことを知りました。その時の様子をもっと知りたくて、父にたずねたところ、当時の学校の周りの様子を写真に収めてあると言われ、写真を見ながら説明して下さいました。

そこで、実は、当時幼稚園生だった僕も学校といったにその写真を撮りに来ていたと聞きました。でも、実際は何も覚えていません。当時小学3年生だった姉に聞いても、地震が起きた時の様子は覚えていても、その後学校の周りがどうだったのかまでは、はっきりと覚えていないと言いました。

だから、僕が小学校を卒業する前に、学校のみんなに、実際に大震災が起きたとき、学校の周りや通学路でどんなことが起きたのか知っておいてもらいたいし、もし次に地震に見舞われた時に、危険な場所を予測して、そこから少しでもすぐには逃れてほしいと考え、このマップを作りました。

調査の方法と工夫したところ

東日本大震災が起きたのが金曜日で、写真を撮ったのが、土曜日の朝だったので、季節は違うけれど、夏休みの土曜日の朝、同じ時間帯に同じ場所を歩いて、今の様子を撮った。

写真を同じ位置から撮って重ねることで、今と震災直後の街の姿がどのように変わったかを、分かるようにした。

実際に歩いてみて感じたこと

いつも歩いている通学路に石垣やブロック塀の壁が落ちてきたりと分かって、不安になった。修復はされたけど、またそんな地震が来たら、同じように壊れる可能性があり、以前に大丈夫だったからといって、安心などは限らないので、気をつけたい。

マークの説明

- 避難所
- 公衆電話
- 危険な場所
- 石垣
- ブロック塀
- 分かわら屋根

東日本大震災以降に起きた震度6弱以上の地震

	地震の発生日時	震央地名	最大震度	マグニチュード	震源の深さ
1	2016年 9月14日 21:07	熊本県熊本地方	7	M6.5	11km
2	2016年 6月18日 17:59	大阪府北部	6-	M6.1	13km
3	2016年12月28日 21:38	茨城県北部	6-	M6.3	11km
4	2016年10月21日 14:07	鳥取県中部	6-	M6.6	11km
5	2016年 6月16日 14:21	内浦湾	6-	M5.3	11km
6	2016年4月16日 9:48	熊本県熊本地方	6-	M5.4	16km
7	2016年4月16日 3:55	熊本県阿蘇地方	6+	M5.8	11km
8	2016年4月16日 1:45	熊本県熊本地方	6-	M5.9	11km
9	2016年4月16日 1:25	熊本県熊本地方	7	M7.3	12km
10	2016年4月16日 0:03	熊本県熊本地方	6+	M6.4	10km
11	2016年4月14日 22:07	熊本県熊本地方	6-	M5.8	8km
12	2016年4月1日 21:26	熊本県熊本地方	7	M6.5	11km
13	2014年11月22日 22:08	長野県北部	6-	M6.7	5km
14	2013年 4月15日 5:33	淡路島付近	6-	M6.3	15km
15	2011年 4月11日 14:07	福島県中通り	6-	M6.4	15km
16	2011年 4月11日 14:16	福島県浜通り	6-	M7.0	6km
17	2011年4月7日 23:32	宮城県沖	6+	M7.2	66km
18	2011年3月15日 22:31	静岡県東部	6+	M6.4	14km
19	2011年3月12日 5:42	長野県北部	6-	M6.3	44km
20	2011年3月12日 4:31	長野県北部	6-	M5.9	1km
21	2011年3月12日 3:59	長野県北部	6+	M6.7	8km
22	2011年3月11日 15:15	茨城県沖	6+	M7.6	43km
23	2011年3月11日 14:46	三陸沖	7	M9.0	24km

みんなに伝えたいこととまとめ

今年の夏も、台風や集中豪雨など災害が続けて起こりました。最初にこのマップを作りはじめたときは、街の様子がどう変わったかをまとめるつもりでしたが、実際に災害が起きたときに、少しでも役に立つように避難所や公衆電話、災害時に使える井戸の位置をマップに入れました。

この研究をとおして、地震はすごい力があることが分かりました。災害は、津波や地割れ、地盤の液状化などをもたらします。さらに、停電や断水によって、日常生活を送るのが困難になります。だから、住んでいる場所によっては、日ごろからの備えがとても大切だと思います。

小学生のみなさんには、番組や通学路などの周りを観察し、「危ない！」と思った時に、危険な所からすぐにはなれるようにしなければいけません。また実際に地震の被害を受けたことのない地域の人にも、この記事を見て、自分のこととして、考えてほしいと思います。

茨城大学 教育学部附属小学校 6年 甲野藤 秀文

水戸市の東日本大震災の被害状況など

- 人的被害　死者 0人（災害関連死 5人 をふくむ）　けが人 72人
- 建物被害　全壊 590棟　大規模半壊 470棟　半壊 2449棟　一部破損 2778棟
- ライフライン　水道…最大断水 7.8万戸、復旧 3月19日　通水開始 4月1日　全面断水 3月19日 通水開始 4月1日　電気…全市的に停電、3月15日 市内の1/3が復旧、3月23日 復旧完了　都市ガス…市内一部で供給停止
- 避難所　117か所　最大避難者数 12500人（3月12日）
- 支援物資　非常食 12万食　毛布 18枚　ブルーシート 9千枚
- ボランティア総数　666人

（水戸市ホームページから）